

在宅取組型(中学校)

学 校 名 等	下呂市立金山中学校
実 施 日 時	夏休み
会 場	各家庭
参 加 人 数	122名(112世帯)
学習課題(分野)	自立心
運営者の願い	<家庭教育委員会の目標> 一緒に過ごせる今を大切に 小さい頃はずっと一緒にすごしていた日々。今では会話が減ってきて、食事以外の時間を一緒に過ごすことも少なくなっているのではないのでしょうか。この夏休み一緒に過ごせる時間を楽しみ、心も身体も元気に休み明けを迎えられますように。

学 習 の 内 容

<取組の方法>

- ① 親子で夏休みの目標について話し合う。
例えば、●生活のリズムを崩さず、メリハリのある生活をする●メディアに関わる時間を決めて取り組む●部活の目標をもち頑張る●一日の学習時間を決めて取り組む●将来に向けて考える時間や調べる時間をもち、進路の決定につなげていく●ボランティア活動に積極的に参加する●旅行やイベントなどいろいろな経験を積む●家族で過ごす時間を持つように心がける
 - ② 親は、①の目標に向けてのわが子の頑張りをサポートする。
→ 目標に向けて頑張る子どもたちの姿を写真や記録に残す。
 - ③ 実践カードに記入する。
→ 子どもから親へのメッセージを記入(取組の感想や家族への思いなど)
→ 親から子どもへのメッセージを記入(励ましの言葉など)
- * この活動は「話そう!語ろう!わが家の約束」運動を参考にしています。

<取組例>



○目標 部活を頑張る

- ・子どもから: 県大会では金賞がとれなかったけど先輩たちのきれいな演奏に感動しました。たくさん練習して先輩のようになりたい。
- ・保護者から: 1年生はお手伝い的なことが多かったけれど、それはすごく大切な事。「日々精進」は、お父さんの大好きな言葉です。



○目標 ボランティア活動に参加する

- ・子どもから: ボランティア活動に参加すると、ふだん関わらない小さな子や大人と関わる機会ができ、参加して良かったな思いました。
- ・保護者から: ボランティアの意味(自発的に!!時間と労力の無償提供、社会奉仕)を理解して、たくさんの人に関わり自分の成長につないでほしい。



○目標 一緒に夕ご飯をつくる

- ・子どもから: 一緒につくると大変さも分かり、協力してできて楽しくて料理もとても美味しかった。
- ・保護者から: 夏休み、時間があるときだからこそ一緒に「ご飯、何にしようね〜?」から始まり、台所で話をしながら作れる時間はとても楽しかった。



バラエティーに富んだ取組例の紹介

- ◎ 委員会の願いのもと、様々な取組の例を示し、中学生をもつ保護者皆さんが各家庭に合った取組ができるように呼びかけています。



「わが子の頑張りをサポート」するという取組姿勢のよさ

- ◎ 中学生をもつ保護者皆さんのわが子との関わり方(距離感)を提案していることが、無理のない取組の展開につながっています。
- ◎ 間接的に関わりながらも、わが子の姿を見守っている保護者皆さんの姿が素晴らしいです。



県の約束運動を参考に自校に合った取組を推進

- ◎ 各家庭の豊かなコミュニケーションを生み出すことを目的に、<取組の方法①②③>を具体的に案内しています。



「わが家の約束」運動

- ◎ 各家庭に合った取組が行われ、親子のメッセージがあたたかいです。また、保護者皆さんのわが子の成長や将来に向けた言葉かけが素晴らしいです。